

なぜ、ドイツはできたのか “脱原発・自然エネルギーへの転換”

いま、日本では東海第二原発＝東日本大震災で被災した40年の老朽原発を再稼働しようとする企てが進んでいます。一方ドイツでは、フクシマの事故から、2022年までに原発をゼロにすると決め、自然エネルギーの活用につとめ、消費電力の36%を自然エネルギーで賄うまでになっています(日本は14.8%)。

この違いはどこから生まれたのか。この疑問を解こうと、坂田雅子監督が、ドイツ各地を歩き、ドイツの戦後史をたどったドキュメント映画が、「モルゲン、明日」です。

このドイツの歩みから学び、私たち市民が主権者として、原発ゼロ・自然エネルギーへ舵を切り、エネルギーを大資本まかせから、地域で暮らす住民・中小企業に役立てる道を切り開きましょう。これは、生命と共存しえない原発からの脱却、21世紀の人类的課題—地球温暖化防止にこたえるものです。

映画を鑑賞後、感想・質疑を受けて、映画の製作者はじめ、ドイツの脱原発や自然エネルギーの事情に詳しい専門家に発言をいただき、討論することを予定しています。



原発ゼロを決めたドイツ。
それは歴史と正面から向き合うことから始まった。
戦後培われてきた市民の力が明日の世界を拓く——

質問に答えるアドバイザー

「モルゲン、明日」企画・監督・撮影：坂田雅子さん

「市民が起こしたドイツのエネルギー革命」の著者 弁護士：千葉恒久さん

産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門主任研究員：歌川学さん

日時：2019年1月18日(金)18時開場 18時30分開会

第1部 映画「モルゲン、明日」(71分) 第2部 質疑・討論

場所：浦和コミュニティセンター第13集会室(浦和駅東口 パルコ10階)

参加費：1000円(会員500円) 連絡先：NPO 法人埼玉自然エネルギー協会 吉村文則

Tel 090-7843-8653 fax 048-864-8686 Email info@saine-2013.com

参加を希望される方は、準備の都合がありますので、あらかじめご連絡ください。